

日 時 : 2016 年 2 月 18 日(木) 13:00 ~ 17:00
場 所 : 塗料報知新聞社 会議室
出席者 : 分科会長: 窪井 要(久保井塗装)
副分科会長: 内山貴織(東和酵素株)、高橋大(株三王)
幹 事 : 平野克己(日本塗装機械工業会)、石井信行(大塚刷毛製造株)、
魚谷英未(株アースクリーンテクノ)
相 談 役 : 福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)
アドバイザー: 田村吉宣(株アースクリーンテクノ)、片山眞司(J&Sエンジニアリング株)
坂井秀也(坂井技術士事務所)
ゲ ス ト : 須田威志 (株豊田自動織機)、小林利紀(日本シー・ビー・ケミカル)
望月徳三(東京ガスケミカル株)、吉野和彦(株明治機械製作所)、
田辺直(有田辺塗工所・愛車館タナベ有)、早川和成(旭硝子株)
白石公郎、根本祥平氏(株サトーホールディングス)、松原出(大気社)
河本謙一、小泉雄一(株小泉塗装工業所)、豊岡正志(エンバイロ・ビジョン株)
葛西志耕(経済産業省関東経済産業局)、光本政敬、成田 昇(長瀬産業株)
新井俊広(埼玉県環境部大気環境課)
事 務 局: 有馬弘純、藤井謙二郎(塗料報知新聞社)

28 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 分科会長挨拶 (窪井)

年始の挨拶。今年は、リスクアセスメントについては厚生労働省と連携を組んで取り組む。

2. 初参加者挨拶

根本祥平(株サトーホールディングス)
光本政敬、成田 昇(長瀬産業株)
豊岡正志(エンバイロ・ビジョン株)

3. 議題

3-1 セミナー結果報告

①VOC セミナーについて(平野・窪井)

- ・(平野)経済産業局主体 1 月 19、20 日 於: 広島と岡山で開催
リスクアセスメントと VOC 対策について行政が 2 本立てで推進。
- ・(窪井)1 月 12 日(宇都宮)と 3 月 4 日(神奈川)
中災防がリスクアセスメントに軸足を置いた VOC セミナーを開催。
また、2 月 5 日に神奈川科学技術アカデミーで SCM についてのパネルディスカッション。
リスクアセスメントは、当面は高懸念物質(640 物質)の扱い方について把握することが焦点となる。

3-2 ASTEC 結果報告(魚谷)

ASTEC(先端表面技術展)に IPCO として参加。11 社がブースを出展。
サトーホールディングス株が初参加。弱電関係、家電関係の方などが来場。

3-3 来年度の計画(魚谷・高橋)

7 月 日本海セミナー 主催: 岡久 場所: 新潟県

※日程調整中 IPCO は工業用を担当、他に自補修(イサム・大塚刷毛)と建築(SK化研・大塚刷毛)のセミナーも計画。

8月31日 北海道セミナー 主催:パウダー協北海道支部 場所:札幌

9月 九州セミナー 主催:九州工塗協

10月 CEMA シンポジウム 主催:日本塗装機械工業会 場所:東京 塗料会館

11月 瀬戸内セミナー 場所:岡山 明治機械製作所

3-4 安全技術分科会 活動計画立案について(田村)

・本年度の着手する活動は、2016年6月から施行される「化学物質に関するリスクアセスメント」実施義務化(労安法改正 2014年6月公布)への対応とする。— 現場の塗装店が本当に実施できるものを作る必要がある。現場での検証が必要なので、工塗連の動きと連動した方がよいと思う。

3-5 関東経済産業局から次年度の施策について(葛西)

下記施策について概略説明。

①ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金、②戦略的基盤技術高度化・連携支援事業(※全額補助金負担という形ではなくなる)、③中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業、④エネルギー使用合理化等事業者支援補助金、⑤中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業、⑥小規模事業者支援パッケージ事業、⑦中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業、⑧ロボット導入実証事業、⑨IoT 推進のための新ビジネス創出基盤整備事業

—関連して、田辺塗工所の田辺氏よりサポインを活用した、「泡と塗装ブース」開発について、進捗状況が報告された。

3-6 プレゼンテーション

① 長瀬産業 炭酸ハイブリッド塗装システム(光本、成田)

環境対応型の次世代塗装システムであり、スプレー塗装の溶剤を液化炭酸ガスに置き換えて塗装するもの。これまでの塗装システムと比較して、VOCを50%削減できる。

システムのメリットとしては、1.炭酸ガスは無害であること 2.塗料の希釈効果が高いこと 3.コストが安価であること 4.環境にやさしいこと。

また、液垂れ防止可能で曲面追従に優れており、塗膜の意匠性や速乾性の向上も期待できる。

既存の溶剤塗料ブースにも設置可能。導入実績としては、建設機械、船舶、自動車内装ですでに実績あり。

② サトーホールディングス デジタルマーク(白石) ※前回の続き

現在、小泉塗装工業所で電着塗装の塗装工程の生産管理を目的に導入実験中。

実験は良い感触で、9月にシステムの本格稼働を目指している。

③ 豊田自動織機 IPCOと共有したい工業塗装分野の課題解決(須田)※前回の続き

A. 品質・化成皮膜

B. 環境・ゼロエミッション化

C. 安全・火災リスク低減改善 これら事項について報告が行われた。

④ エンバイロ・ビジョン 塗装ブースといった厳しい環境でも使用できるマイクロバブル発生装置(豊岡)

マイクロバブル発生装置について、実物も展示のうえで解説を行った。

※次回分科会開催予定

第16回環境技術分科会 2016年4月21日(木) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————